

# まちいろ クレヨン探検隊



## 成果物

▼参加者がそれぞれ、採集した色で作成したクレヨン



## 企画趣旨

まちを描く時、どんな色を使いますか？私たちが想像する以上に、まちは色で溢れ色は常に変化しています。天気や空気などさまざまな環境の影響を受け、私たちが感じとる「色」はまさに十人十色です。このワークショップでは実際に子どもたちに風景の色採集とクレヨン製作や描画を通じて、街の風景における色の複雑さや豊かさを感じとってもらうことを目的としています。また、仲間と色採集を行うことで一人ひとりの色の捉え方にも違いがあり、色は多様であることを味わってほしいと思っています。

## 概要

日時： 2022 年 11 月 23 日（水・祝）10:00～15:00  
主催： 慶應義塾大学石川初研究室、日本建築学会  
※宇治市政策企画部政策戦略課市民協働推進課、  
一般社団法人アーバンデザインセンター宇治（UDCU）  
主催による「まちにわワークショップ」の一環として開催  
場所： 京都府宇治市中宇治地域  
（菟道ふれあいセンター、中宇治 yorin、宇治川）  
参加者： 年少～小学生 計 13 人

## 企画の流れ

- 2021 年 4 月 アイデアの企画
- 2021 年 6 月 コンペ参加
- 開催に向けた準備
- 2022 年 6 月 初回ワークショップの開催
- 2022 年 6 月 2 回目コンペ参加
- 2022 年 11 月 ワークショップの開催



## 当日の様子



9:00

### スタッフ集合

大学生4名は会場に前日入りし、正午から備品の買い出しと設営をしました。それ以外の大学生スタッフは当日に集合し、流れの最終確認を行いました。

9:40

### 受付開始

当日が雨だったこともあり、事前予約者に加えて当日の参加者も募集しました。受付では名前と番号を書いた名札とワークショップのしおりを渡し、会場に移動しました。

10:00

### 色作りワーク

カラーハンティングのため、絵の具を混ぜ合わせ、色を作る練習をしていきます。外から拾ってきた落ち葉の色など、8つの絵の具の色単体だけではできない色を作ってもらいました。ワークを通じて普段目にする色も実は複数色の組み合わせからできていることを体感することで、パレットにない色も再現しやすくなります。

10:45

### カラーハンティング

カラーハンティングでは、風景の色を抽出しました。宇治川に到着後、<sup>※1</sup>専用のボードを持ち、歩き回りながら色採集を行ってもらいました。大学生スタッフは、色混ぜの指示などは出さず、見守り隊としてカラーハンティングを一緒に行いました。

子どもたちは、自由に歩き回りで「宇治川の水の色」と「この景色の中にある気になった / 好きな色」の2色を採集しました。パレットで色を混ぜ合わせ、小さく切った紙に作った色をのせ、実物と比べながら、色の抽出を行います。小さく切った紙は色見本になり、クレヨン作りでの大事な道具となります。

調合で悩んでいる子には……

13:45

### クレヨン作り

カラーハンティングで採集した色は、クレヨンを削ったパウダーを混ぜ合わせて作っていきます。調合が完了したクレヨンパウダーにビーズワックスを加え、湯煎をして溶かしたら、円柱の型に注ぎこみ固めていきます。その後このクレヨンを水に入れ冷やし固め、割り箸で型から押し出して完成です。クレヨンを作るまでの一連の流れを円滑にするべく、型を流し込むツールや子どもでも安全に湯煎を行える工夫をしました。

※2

14:25

### お絵描き

自分で作ったクレヨンで絵を描くことでまちの色に愛着を持ちやすくなると考えています。完成したクレヨンは子どもたちが持ち帰りました！



※1 紙・パレット・筆・鉛筆の付いたボード

絵の具で色見本を作った時はどの色を混ぜて作ったの？

と声をかけると一気に手が進む場面が多かったです！



※2 子どもでも湯煎が行えるツール  
(アルミ皿の木枠)